

～地元のソウルフード「気仙沼ホルモン」～

被災中小企業施設・設備整備支援事業（復興企業フォローアップ事業）

株式会社からくわ精肉店

事業概要

「気仙沼ホルモン」の赤いのぼりが目印の「和牛のからくわ精肉店」。昭和42年、それまで遠洋漁業の船員として働いていた代表の畠山義隆さんは、寄港先で体験した西欧の食文化に魅了され「地元の人々にお肉の美味しさを知って欲しい」との思いから精肉店を始めました。気仙沼ホルモン専門店として知名度が高く、保存料を加えず、材料は国産のみを使用し、徹底した下処理によって独特の臭みを抑えるなどの工夫を凝らしたホルモンが人気です。店内では、代表の妻であるチエ子さんが元気な声と明るい笑顔で出迎えます。

震災前の店舗は新浜町にありましたが、周辺は地域ごと津波と火災で壊滅的な被害を受け、一時は廃業も考えました。しかし、多くのお客様の『お店を再開して欲しい』という後押しで、現在の田中前に移転して再開することを決意。その際に、経済産業省のグループ補助金及び被災中小企業施設・設備整備支援事業を活用しました。

義隆さんとチエ子さんご夫婦は、新店舗での営業も軌道に乗ってきたものの、商品をより多くのお客さんに届けるためには何か新しい取り組みが必要だと考えていました。そうした中、復興企業フォローアップ事業で「WEB会議個別研修会」を開催することを知り、申し込むことにしました。参加したチエ子さんにとって、慣れないパソコンやWEB会議システムの操作方法などを個別に相談できる初めての機会であり、講師へ積極的に質問をして知見を深めました。研修会の2日後には早速オンライン商談会へ参加。当初は参加を迷っていましたが、研修会で得た知識と経験を生かし、落ち着いて対応ができたことで、新たな取引に向けて話が進んでいます。

今後は、オンラインでの商談において、商品の魅力をよりよく伝えるスキルを習得するため、WEBに詳しい専門家の助言を受けたいと意気込みを見せています。

企業の声

被災中小企業施設・設備整備支援事業を利用したことで、資金繰りが安定し無事に復旧を果たすことができました。今回、研修会を受けたことでオンラインでの商談に対し、気持ちが前向きになり、早速、新たな取引開始へつなげることができました。

今後も復興企業フォローアップ事業を積極的に活用して、新しいことに挑戦し続けていきたいと思えます。

企業概要

代表者：畠山 義隆

住所：気仙沼市田中前3丁目6-8（店舗）

気仙沼市田中前3丁目1-20（事務所）

電話：0226-23-3447（店舗）

URL：<http://karakuwa298.co.jp/index.html>

主要商品：気仙沼ホルモン・和牛（黒毛和牛A5いわて牛、仙台牛）



①店舗外観

②気仙沼ホルモン

③加工作業

④食彩工房(加工場)

復興企業フォローアップ事業は、被災中小企業施設・設備整備支援事業を利用し、復旧・復興を目指す中小企業者等の経営課題解決へ向けた支援（専門家の派遣等）を行う事業です。